

令和 7 年 5 月 1 2 日

令和 7 年 5 月 臨時会
副議長選挙に係る所信表明会会議録

長 岡 市 議 会

令和7年5月12日（月）午後1時34分開会

※

◎所信表明申出者（1人）

中村耕一君

※

（池田（和）議長） ただいまから、副議長選挙に係る所信表明会を開催いたします。

※

（池田（和）議長） 本臨時会における副議長選挙については、1名の議員から所信表明申出書の提出がありました。これより、所信表明申出者から演壇において5分以内で所信表明を行っていただきます。

なお、令和7年5月臨時会における正副議長選挙に係る所信表明会実施要領により、所信表明に対しては拍手その他の方法による賛意の表明や、野次その他の方法による反意の表明をしてはならないことになっております。また、応援演説及び質疑を行うことはできませんので、御注意願います。

それでは、中村耕一議員、所信表明をお願いいたします。

〔中村耕一君登壇〕

（中村議員） 副議長選挙に当たり、所信を述べる機会を頂き、心より感謝申し上げます。長岡市公明党の中村耕一です。

私は、まず長岡市議会の歴史と伝統に対して、心からの敬意を表したいと思っております。幾多の困難な時代を乗り越えながら、先達の皆様が築き上げてこられた格式ある議会の重み、市民の負託に応えるため真摯な議論を重ね、長岡市の未来を切り開いてこられたその歩み、私達はまさにその積み重ねの上に立っています。この歴史と伝統を、私は何よりも大切にしまいたいと考えています。議会の品格や正当性は、先輩方のたゆまぬ努力の結晶です。その重みをしっかりと胸に刻み、未来へつないでいくことが、今を預かる私たちの責務だと思っております。

しかし、時代は大きく変化しています。社会はますます多様化し、市民一人一人の価値観もかつてないほどに広がりを見せています。それを反映するように、私たち議員一人一人も異なる背景と視点を持つ時代となりました。私は、この現実を前向きに受け止めたいと思っております。伝統を土台に据えながら、そこ

に多様な声を真摯に受け止め、丁寧に議論を重ねていくこと、その積み重ねこそが、これからの議会のあるべき姿だと確信しています。伝統を守ること、多様な意見を生かすことは、決して矛盾するものではありません。私は副議長として、議員一人一人との対話を何よりも重視してまいります。異なる意見に敬意を払い、立場を超えて耳を傾け、率直に語り合うこと、その積み重ねが市民の声を力に変える礎になると信じています。

議会は熟議の場です。全ての議員の思いが尊重され、真に建設的な議論がなされる場所でなければなりません。そのために、私は副議長として対話と調整を促し、議会全体の力を最大限に引き出す役割を果たしてまいりたいと決意しております。先達が築いてこられた伝統と歴史を大切にし、そして今を生きる私たち一人一人の多様な思いを生かしながら、共に新たな長岡市議会の姿を築いてまいりたいと思います。どうか、私の思いを御理解いただきますよう、心よりお願い申し上げます。御清聴誠にありがとうございました。

————— ※ —————

(池田(和)議長) 以上で副議長選挙に係る所信表明会を終了いたします。

午後 1 時 3 9 分閉会

————— ※ —————